

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日2020年12月29日

事業所名: Dream

サービス種類: (放課後等デイサービス)

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	利用定員は10名で一コマ約2時間のプログラムを行っています。プログラムに合わせて最大4か所の指導訓練室に分かれて活動を行いスペースの確保を行っています。	はい...92% いいえ... 0% 未記入...なし どちらとも...4% 分からない...4%	保護者の皆様には、送迎や面談時にどのように各居室等を使用しているか説明し、時には見学という形でいつでも見て頂ける環境に設定していきます。
	2 職員の適切な配置	基準通り+児童指導員加算を取得した人員を配置し、2部制を取り入れるなど、安全に配慮しながら対応を行っています。職員にとっては児童の状況や活動内容などにより不足を感じている場合もあります	はい...67% いいえ... 0% 未記入...なし どちらとも...18% 分からない...15%	人員配置上は法令及び児童指導員を1名加算していますが、安全面や配慮が必要な時には必要な人員配置ができるように対応を重ねていきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	バリアフリーが必要度合いが現利用者には低いことから必要性があるかどうかは判断しづらい状況ですが、2階にて療育を行うプログラムもあり、階段等の昇降には配慮しています。	はい...78% いいえ... 0% 未記入...なし どちらとも...19% 分からない...3%	活動場所が1階2階のスペースになるので、どの様に安全に配慮を行うべきか、今後も検証を重ねていきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	職員の配置に合わせた内容の業務設定を行っています。環境整備として日々丁寧に清掃を行っています。今年はコロナ渦で、消毒チェック表を作成し、一層の衛生面に配慮し感染症対策を行いました	はい...78% いいえ... 0% 未記入...なし どちらとも...19% 分からない...3%	今後も心地よく過ごせる様に活動場所の清潔保持に努めていきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	日々の打ち合わせや、療育終了後には振り返りを行いながら確認を行っています。またスタッフ会議やケース会議等職員が集まり意見を出し合う場を作り共通理解のもと支援に繋がっています。		今後も継続して取組んでいきます。
	2 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	アンケート結果は職員全員で把握し、保護者向けの自己評価表をもって職員会議を行い業務課宮緒につなげるようにしています		今後も継続して取組んでいきます。
	3 この自己評価の結果を、事業所の開放やホームページで公開しているか	ホームページに公開するとともに、保護者への事業報告に掲載し周知しています		自己評価に関しては、ホームページでの公開及び更なるサービスの向上を目指して行きます

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容		
	4	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	今年度はコロナウイルスの関係で第3社評価を行うことが出来ませんでした。平成30年に実施指導を受けて、業務改善に努めています		第三者による外部評価を受け意識の向上と業務改善に努めていきます。	
	5	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	概ね月1回の社内研修を行い、外部研修については、コロナの影響でウェブでの研修などを受けるようにしました。		今後も継続して取組んでいきます。	
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成しているか	保護者・児童のニーズを確認しながらケース会議等で課題の収集・目標の設定を行い、モニタリングをの報告を保護者に報告し、放課後等デイサービス計画を作成し保護者との面談において説明・調整を行いながら同意を頂いています。	はい・・・92% いいえ・・・0% 空白・・・4%	どちらとも・・・4% 分からない・・・0%	今後も継続してアセスメントに基づきながらニーズ・課題の分析を行い放課後等デイサービス計画を作成していきます。
	2	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	具体的な支援目標を設定しながら、児童の発達・スキル向上などの目標に合わせたSST活動・個別活動・訓練活動・集団活動を計画に盛り込みながら実践しています。			今後も児童の状況の応じて個別活動・集団活動を組み合わせた内容を検討しながら計画を作成していきます。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	支援目標・家族支援・地域との連携など、留意事項も含めながら支援内容・期間の設定を行い計画には記載しています	はい・・・96% いいえ・・・0% 空白・・・4%	どちらとも・・・0% 分からない・・・0%	本人及び保護者の聞き取りから浮かび上がる課題の抽出を行い、具体的な到達目標に向けて支援内容や留意事項・支援機関など継続して記載していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援計画に対して保護者の同意を頂いた後、児童発達支援管理責任者が全職員に周知を行っています。また個別記録表に日々の活動内容を記録し、計画内容を随時確認しながら支援出来るようにしています。	はい・・・96% どちらとも・・・0% いいえ・・・0% 分からない・・・4% 未記入・・・なし	今後も児童の状況の応じて個別活動・集団活動を組み合わせた内容を検討しながら計画を作成していきます。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	スタッフ会議にて職員で具体的な活動プログラムを指導員リーダーが中心となって立案しています。また活動毎の計画書を作成し、取組後は実施報告書にて結果や改善点を残し次に繋げています。		事業理念に沿って方向性を共有し、到達目標に向けて職員全員で色々な視点からプログラムを立案していきます。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日授業と休業日ではサービス提供時間が異なりますが、今年はコロナの影響で密集を回避するために、2部制で行いました。継続的なプログラムを基本に、実践に繋がるロールプレイやイメージトレーニングとしてマインドマップなどを取り入れています。また季節行事やクッキング・施設見学・買い物など活動プログラムを立て自立に向けての基礎学習として取り入れています		今後も時間帯に応じてプログラムを立案・実施・支援を行います。長期休暇時には体験活動プログラムを取り入れ経験値・社会生活スキルの向上に努めていきます。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	通常の活動と共に季節に合わせた活動を取り入れたり、児童からの意見を実現する活動に取り組んでいます。また、訓練活動の生かした制作活動など期間を設定して取り組んでいます。	はい・・・85% どちらとも・・・11% いいえ・・・0% 分からない・・・4% 未記入・・・なし	今後も活動プログラムが固定化しないよう心掛け活動内容に変化をつけていきます。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	職員全員でミーティングを行い、児童の予測される行動に対しての配慮の仕方や職員のポジショニングや各担当配置などきめ細やかに話し合い、児童を受け入れる準備を行っています。		今後特性や、配慮を怠らず、継続して取り組んでいきます。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	療育終了後に職員全員で活動・児童対応の仕方など良かった点・配慮が必要だった点・改善点ヒヤリハットなどを話し合い、日々記録として残しています。連絡帳により保護者からの連絡や活動の報告を行い情報共有に繋げています。		今後も振り返りや気付いたことを共有しながら継続して取り組んでいきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々の支援内容に関しては個別記録に表に記載しています。記録を基にモニタリングを行い、ケース会議を行っています。緊急性を要する場合は迅速に対応策を話し合い改善を図っています。		今後も個別記録の書き方などを研修などを通して継続して取組んでいきます。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的にモニタリングやケース会議を行い、保護者に内容を説明しています。また家庭での状況も伺いながら本人・家族のニーズの把握を行いサービス計画の見直しを行っています。		今後も最長6ヶ月を遵守しながら、状況を鑑みて適切に見直しを行ってまいります継続して取組んでいきます。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	保護者・相談支援専門員・関連事業所・学校などと連携し、統一した支援が行われるようにサービス担当者会議を積極的に参加しています。		今後も保護者・相談支援専門員・関連事業所・学校などと連携しながら利用者にとって有益な支援が行えるよう積極的に参加していきます。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有			
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	相談支援専門員に状況を報告し、相談専門員を通して必要に合わせて、支援内容の報告する予定です。		保護者の意向を基に円滑な移行支援の必要性をお伝えし、情報提供に努めます。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	専門機関での研修受講のお知らせがあった際には職員に周知し受講を推進しています。		今後はウェブでの研修等多様な研修を受けることが出来るように環境を整備し、研修のお知らせを受けた際には積極的に受講を促進していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	7 児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	放課後児童クラブや児童館との交流は、保護者や利用者が交流を望んでいないため機会の提供までには至っていません。	はい・・・40% どちらとも・・・26% いいえ・・・4% 分からない・・・30% 未記入・・・なし 園児ではないので分からない	ニーズを聞きながら、必要に応じて交流の計画を考えていきます。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	今年は、地域の肩を招いての茶話会は、七草粥の開催のみで、地域の清掃活動に留まりました。	/	今後も継続して地域との交流会などの自分たちにできることを模索しながら機会を設けていきたいと思います。
保護者への説明責任・連	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	支援内容・利用者負担などについては契約時に重要事項説明書を読み詳しく説明をしています。	はい・・・100% どちらとも・・・0% いいえ・・・0% 分からない・・・0% 未記入・・・なし	契約時に説明を求め、変更がある際には1ヶ月以上の期間を設けながら周知を行うことを、今後も継続して取組んでいきます。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	放課後等デイサービスの計画を作成し、半年に一度見直しを行いながら児童発達支援管理責任者より説明を行っています。今年は電話での説明が多く、長時間の面談は行うことが出来ませんでした。	はい・・・100% どちらとも・・・0% いいえ・・・0% 分からない・・・0% 未記入・・・なし	今後も継続して取組んでいきます。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアレントトレーニングの実施には至っていませんが、具体的な対応の仕方については、保護者より質問などがある時には随時、面談日以外でも時間を取り保護者の話を伺いながら具体的に対応の仕方をお伝えしています。	はい・・・63% どちらとも・・・26% いいえ・・・0% 分からない・・・11% 未記入・・・なし 保護者の時間が取れない。	勉強会・講演会など企画し、情報の共有及び実践の取り組み方など学ぶ機会やお伝えする機会を設けるように努力します。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳や送迎時に現状をお伝えしたりモニタリングの結果を話すことで共通理解を図っています。	はい・・・96% どちらとも・・・4% いいえ・・・0% 分からない・・・0% 未記入・・・なし	今後も個々の要望や言葉に向き合い、継続して取組み共通理解が進む様にしていきます。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	定期的な面談だけではなく随時、相談には対応し、保護者の思いに寄り添う対応を重ねています。また必要に応じて学校や相談支援専門員・他事業所と連携を図り迅速に対応策を協議しています。	はい・・・100% どちらとも・・・0% いいえ・・・0% 分からない・・・0% 未記入・・・なし	今後も保護者の思いに寄り添いながら継続して一緒に課題解決に向けて取り組んでいきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
携 支 援	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者会は年1回開催しています。	はい…56% いいえ…0% 未記入…なし	どちらとも…33% 分からない…11%	現在の取り組みを継続して行い、保護者同士の連携支援の構築を考えていきます。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情・相談マニュアルを作成し、迅速かつ適切に対応出来るようにしています。契約時には当該施設以外にも行政機関を含めた苦情窓口を必ず保護者にお伝えしています。	はい…86% いいえ…0% 未記入…なし	どちらとも…7% 分からない…7%	契約時だけでなく定期的に苦情解決の窓口の説明を行います。保護者からの意見には迅速に対応するようにします
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	支援の際には言語支援だけでなく絵カード・ジェスチャー・筆談など視覚的に理解しやすい方法で意思の疎通や伝達を行っています。保護者への連絡は、連絡帳や月刊のお便り及び必要に応じた電話対応などを行っています。また、送迎時や通所選択時になど本人、保護者と職員が情報を共有し共通理解に努めています。	はい…85% いいえ…0% 未記入…4%	どちらとも…4% 分からない…7%	今後も継続して意思疎通が図れるように様々な方法を考え取り組んでいきます。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月1回のお便りを発行し、写真をアップした活動内容の報告や今後の行事予定等必要書類などについても掲載を行い情報発信を行っています。	はい…100% いいえ…0% 未記入…なし	どちらとも…0% 分からない…0%	今後はブログでの発信など、より保護者のニーズを注視しながら継続して取り組んでいきます。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	事業所建物の施錠・書庫の施錠など取り扱いについては契約時に書面で同意を頂くように対応しています。	はい…96% いいえ…0% 未記入…なし	どちらとも…0% 分からない…4%	今後も個人情報の取扱いには十分に配慮していきます。
	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアル策定は行っています。また職員研修の場なども受け周知を行っていますが、保護者への発信には現在に至っていません。	はい…96% いいえ…0% 未記入…なし	どちらとも…0% 分からない…4%	各マニュアルの周知を行い保護者への発信や事業所内での情報提供の仕方など環境整備していきます。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	洪水・地震・火災通報訓練の意識付けを防災週間として、災害に対する予備知識の導入や実践として避難訓練(火災・地震・水害など)を行っています。また毎年長期休暇中の8月には児童・職員共に加古川防災センターで実技体験を行いますが、今年を行うことが出来ませんでした。	はい…92% いいえ…0% 未記入…なし	どちらとも…4% 分からない…4%	今後も継続して災害や防災についての意識向上を図り実践も含め訓練を行っていきます。お便りや連絡帳を通じて報告していきます。(平成30年11月以降の計画書にも避難先を明記し説明を行っています)

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	3 虐待を防止するための職員研修機 等の適切な対応	外部研修などに参加することを始め、事業所内では日々のミーティング及び振り返りの場で意識の統一を図る様にしています。		社内研修・社外研修会に参加し情報共有しながら意識の向上を図り日々の支援に生かしていきます。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在身体拘束に関して該当児童がいないので支援計画には記載していません。今後の課題として該当児童がいる時には、事前に会議で課題の収集及び対応策を検討し、保護者へ説明・同意を得る様に準備をしています。		必要時に備え、職員と共有しながら対応策を考えていきます。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時や保護者との面談などで定期的にアレルギー他の有無・薬の飲み合わせ・対応策等確認しています。通所時には連絡対応手順書を用意し、面談時には保護者に確認の上、処方箋のコピーを頂くなど職員に周知しています。		仕様書を随時変更するなど、安全に通所できるように継続して取組んでいきます。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットの事例があった場合には振り返りやミーティングを共有の場としています。またその場で改善策も考え記載しファイリングしています。		今後もヒヤリハット集を活用ながら、継続して取組み安心・安全に努めていきます。
満足度	1 子どもは通所を楽しみにしているか	季節や、その時期にしかできない活動などを月ごとに体験を増やしていくことと、生活の自立を目指して、必要な活動を楽しみながら活動できるように支援を組み立てています。	はい・・・96% どちらとも・・・4% いいえ・・・0% 分からない・・・0% 未記入・・・なし 行きたがらないが、通所すれば「楽しかった」と言っている。	今何が必要なのか、利用者のニーズと獲得してほしい課題を把握しながら、プログラムを計画し支援に活かしていきます。
	2 事業所の支援に満足しているか	活動の計画は立てながらも、自己決定や集団での決め事などを子供たちからの発信を受け入れながら、自分たちの思いが達成し成功体験となれるよう心掛けています	はい・・・96% どちらとも・・・0% いいえ・・・0% 分からない・・・4% 未記入・・・なし 親切に相談に乗ってくださいます。	一人一人の特性を理解し、小さい歩みでも成長の見られる支援を目指し取り組んでいきます